

2026年6月13日  
競技長

## ロードスター・パーティレースⅢ ジャパンツアーシリーズ 第3戦 ブリーフィング資料

### ■ 共通

#### 1. コース状況

・コース改修について

- ① 西コース路面張替え
- ② デブリフェンスの更新 (T13.0)

#### 2. ピットレーン通過速度について

規制速度は、60km / h 以下。

#### 3. ピット出口からのホワイトライン

- ① ピットから離れる車両は、ピットレーン出口から第1コーナーにかけてホワイトライン(図1)を含んだ右側を走行すること。
- ② トラック上を走行中の車両を制限するものではない。

#### 4. ピットレーン出口の信号機について

- ① “レッドライト”が点灯しているときは、コースイン不可。
- ② “青色点滅”時はストレート走行車両に注意すること。

#### 5. 信号合図

競技中の信号合図は、フラッグおよびライトパネルによって行われる。

#### 6. 国際モータースポーツ規則 付則H項

- ① 黄旗区間は確実に減速すること(追越し・スピン・オーバーラン厳禁)。  
なお、黄旗は手前複数のポストでも提示される場合あり。
- ② オレンジディスクは、「コントロールタワー前の0ポスト」、「西ストレート管理室前(14.5ポスト)」の2ヶ所で提示。  
(速やかにピットへ戻って車両確認すること)
- ③ 青旗は、予選中には追い越されようとしている車両に対して提示。また、決勝中は周回遅れにされようとしている場合に提示。



図1 ホワイトライン

#### 7. コース上での停車

- ① 可能な限りコースから離れた安全な場所に停車させること。
- ② 車両から離れる場合、コースは横断せずオフィシャルの指示に従うこと。
- ③ 再スタートする際は、後続車および周りの状況をよく確認してから走路へ復帰すること。

#### 8. クラッシュ・事故にあった場合

- ① ドライバーは、すぐに車両から出て安全な場所へ移動すること(次項②の場合を除く)。
- ② 援助が必要な場合には、無理に動かさず、救出チームの到着を待つこと。

#### 9. ショートカット / 走路外走行(トラックリミット)

- ① コース上のショートカット部分(東ショートコース路等)は通過不可。
- ② 白線上は走路の一部とみなすが、縁石は走路外となる。
- ③ 四輪とも白線を越えた場合は、走路外走行と判定され審議の対象とする(アドバンテージの有無、危険性の有無を検証)。  
(シリーズ規則 第11章 第59条 参照)

#### 9. 競技車両のサーキット外持ち出しについて

公式車検を受けてからレース終了後の公道車検を受けるまで、競技車両の場外持ち出しは禁止とする。

### ■ 公式予選

#### 10. ピットレーンへの移動

オフィシャルの指示に従い、コースインすること。移動開始時間は走行開始 **7分前**とする (別途 INFORMATION 参照)

#### 11. スロー走行

極端なスロー走行は行わず、タイムアタックしている後方車両に注意を払うこと。

#### 12. 黄旗区間の運用

黄旗区間を通過した車両は、当該ポスト、レースコントロールで厳正に管理する。なお、当該ラップタイムは採用しない場合がある。

#### 13. 公式予選終了後

公式予選終了後の車両保管は実施しない。

### ■ 決勝レース

#### 14. 周回数

- ① 決勝周回数は8周。
- ② 完走周回数は、優勝者の周回数の70%以上とし、少数点以下は切り捨てられる(5周)。

## 15.決勝スタート (ローリングスタート) ※競技規定③14.3)参照

- ①オフィシャルカー (セーフティカー兼務) が全車両を最高約 80 km/h で先導する。後続車両は前方車両から 10 車身以上離れぬよう走行すること。後続の隊列を乱すような加速や減速は禁止する。フォーメーションラップに出遅れた車両および、フォーメーションラップ途中で正しい位置が保てなかった車両は最後尾につけること。
- ②T16 を通過後、競技車両はGRIDフォーメーション (グリッド位置の二列縦帯) を形成すること。
- ③オフィシャルカーはフォーメーションラップ終了と共にコース上から退去する。先頭車両はスタート信号 (緑ランプ) が合図されるまで、最低速度 70 km/h、最高速度約 80 km/h にてそのまま走行を続けること。
- ④最終コーナーの立ち上がりからメインストレートでは、スタート信号が合図されるまで、自車両に割振られたイン側またはアウト側のスターティンググリッドボックスの列上をはみ出さずに走行すること。
- ⑤各車両はスタートラインを通過するまで他車の追い越しは禁止される。
- ⑥フォーメーションラップ中に何らかの問題が発生した場合には、スタートライト信号灯に赤ランプが継続的に点灯され、他のオブザベーションポストでは黄旗が提示される。オフィシャルカーが再度先頭車両の前に合流し、全車はもう 1 周のフォーメーションラップを行う。

## 16.セーフティカー

- ①必要があればレース中の先頭車両の走行地点に関わらず直ちにコースに入る。
- ②競技車はセーフティカー後方に“一列”に整列し走行すること。
- ③セーフティカーの呼び戻しが決定されると、セーフティカーはオレンジライトを消灯し、その周回が終了した時点でピットレーンに入る。この時点でセーフティカー後方に位置する先頭車両が走行ペースを決定することができ、必要であればセーフティカーとの車間距離を車両 5 台分以上としても構わない。  
この間もすべての競技車両は追い越すことなく、1 列の隊列を維持して走行すること。
- ④ドライバーや競技車両、オフィシャルが危険にさらされている状況が解消されたと判断されるまで、非競技化状態を継続する。ドライバーは S C 導入が複数周回に及ぶことを予め理解しておくこと。
- ⑤**競技再開の時、非競技化解除地点 (コントロールライン) を通過するまでは追越しは禁止とする。**  
(国際モータースポーツ競技規則付則 H 項「セーフティカー」に基づき運用)



## 17.レース中に課せられる罰則(反則スタート及びその他罰則)

- ①タイムペナルティは、T+Car No. で指示 (下図 2)
- ②ドライブスルーは、D+Car No. で指示 (下図 3)
- ③ペナルティストップは、P+Car No. で指示 (下図 3)  
ペナルティストップエリアはピットレーン出口右側 (下図 4)
- ④レース中に上記罰則が実施できない場合は競技結果にタイムを加算

## 18.決勝レース中の接触

決勝レース中の接触行為については「2026 ロードスター・パーティレースⅢ 競技規定」に基づきシリーズポイントは与えられない。ただし、接触した相手が決勝レース以降にタイムペナルティ (降格) 以上の罰則を課せられた場合には、全ての得点が与えられる。また、この判定に関する抗議は受け付けられない。

## 19.チェッカー後

オフィシャルが誘導するパークフェルメに進むこと。

## 20.公道車検

決勝レースの車両保管解除後に公道車検を開始する。すみやかに公道車検を受けること。  
決勝レース後の車両保管場所は公式通知を参照すること。



図 2 タイムペナルティ



図 3 ペナルティストップ/  
ドライブスルーペナルティ



図 4 ペナルティストップエリア

### ■添付資料

- ①スタート進行表 ②セーフティプラン